

第25回 熊本国際 交流祭典



熊本県青年海外協力協会の「皆でフォルクローレ」ボランティアも参加して暖かい雰囲気になりました

くまもんに登場。やはり人気のモンスター



ボランティアも熱烈応援 日中協会のワンタンに人気

熊本県国際交流協会主催の第25回熊本国際交流祭典が11月24日(土)、熊本市の健軍商店街「ピアクレス」で開催されました。

丁寧に手作り。味は一品で、購入したお客様たちから、とても美味しいとお褒めの言葉をいただきました。

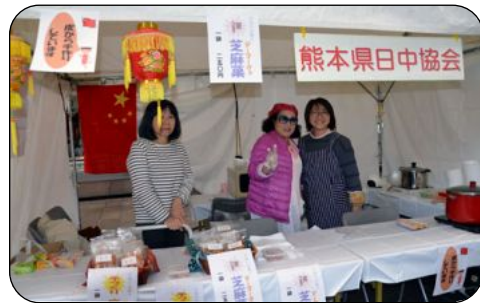
熊本県日中協会は今年もグルメ部門に出店、すっかり恒例となったワンタンスープと中華菓子の麻花(マーファ)・芝麻菓(ジーマーガ)を販売。お菓子もワンタンも、前日に中国帰国者の皆さんに協力してもらい、総勢17名で一日かけて

グルメ部門には当協会も含めて8団体が出店して様々な料理を提供。他にも各団体が活動紹介などを行うパネル展示部門、各国のお土産や小物を販売するバザー部門、ダンスや音楽を披露するステージ部門や各国文化の体験コーナーと様々。

簡単なクイズに答えてス



くまモンとハイタッチ



日中協会もグルメ部門に出店



今年も美味しく出来上がった麻花と芝麻菓



JET青年グループの太極柔力球

ワンタンを集めると、各団体や協賛者から提供の景品がもらえるスタンプラリーは子供たちに大人気でした。これだけのイベントは運営も大変ですが、国際協会

の方や参加団体から役員を引き受けてくださった方々に加え、大学生や高校生を中心に一般人、ALTなど約60名のボランティアが応援してくれました。



総合同会は熊本在住のエドウィンさん(右)日本語がとても上手です

パラフォン(西アフリカ木琴)の演奏



熊本国際交流祭典



クイズに答えるとスタンプがもらえます



スランブラリー終了で記念品抽選



記念撮影コーナーのボードの前でポーズを決める参加者



前日のワンタン作りを手伝ってくれた中国帰国者の皆さん。和服を着せてもらってご機嫌

和服姿に「惚れ惚れ」



お茶を楽しむ人たち

熊本県国際農友会の餅つきもありました



試着を待つ各国の衣装



韓国の投げ矢遊び

衣装を試着してお化粧も



日中友好協会さんのテント



見事にフェイスペインティング



折り紙を楽しみました

少林寺の歴史今も

「天地の中央」にある登封の史跡群

世界遺産

河南省鄭州の登封市。その北にそびえる嵩山の周辺で、歴代の王朝時代に築き

上げられた八件の歴史的建造物が、二〇一〇年に世界遺産に登録されました。中国は中華思想に従って自らを天地の真ん中に置き、その中心が中原としました。古代の為政者はここに都を置いたことから「登封」を



禅宗の発祥地「少林寺」



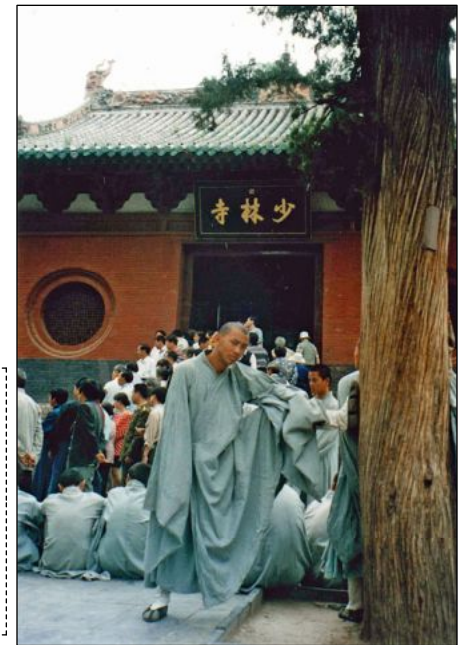
歴代高僧の墓塔が並ぶ塔林



位の高い僧の墓

登録の際の名称に「天地の中央・・」としました。また、崇山は中国隋一の名山で一九九一年にはこの一帯がユネスコの世界地質公園（ジオパーク）に指定されました。

登録対象は 太室闕と中岳廟 少室闕 啓母闕 嵩岳寺塔 少林寺建築群 会善寺 嵩陽書院 周公測量台と観星台。 拳法で知られる少林寺は少室山北麓にあり、インドから来た僧達磨がこの地で禅宗を開き、少林寺は禅宗の発祥の地になりました。僧は文僧と武僧に分かれ、全国から選ばれた武僧は境



訪れる観光客と修行僧でにぎあう少林寺

内近くの演舞場などで演技を披露してくれます。龍門石窟で有名な洛陽からも近く、ツアーバスで日



少林寺の近くにある学校で武術を学ぶ生徒たち

編集後記

中国の世界遺産は、文化遺産36、自然遺産13、複合遺産4、各力所の合計53所、イタリアの54カ所に次ぐ世界で二番目です。中でも北京には中国で一番多い6カ所あり、さすが首都です。中国で、最初に登録されたのは1987年（昭和62年）。万里の長城、北京と瀋陽の明・清の皇宮群、莫高窟、秦の始皇帝陵及び兵马俑坑、周口店の北京原人遺跡の5カ所。そして、最近10年で10カ所が登録されました。

長い歴史と広大な土地に育まれた遺産。その登録は、とどまるところを知らりません。遺産登録の前段階となる暫定リストは既に51件にのぼり、世界のトップに躍り出るの時間の問題です。自然遺産では地震の被害に遭った九寨溝や黃龍の渓流は、その景観の美しさに、この世のものかと驚きすら感じます。文化・自然を大切に育て、保存してきた中国人たちの心の広さ、偉大さに敬服の念を感じるものです。

（機関紙編集委員会・小串 照彦）